

吹上小学校の通学区域の変更に関する意見交換会

令和3年11月8日（土）
13時30分から14時05分
吹上小学校体育館にて

① 参加者（世帯）数
40世帯

② 出席者
齊藤教育部長 大島教育部参与 宮野教育部副部長 鳥沢教育総務課長
教育総務課 新井・堀 学務課 石井・梶谷

③ 以下、質疑応答内容

保護者	<p>無計画でその場限りの提案と感じられる。友人関係が崩れる心配、近所の子どもや兄弟と同じ学校に通えなくなる可能性もある。吹上小学校は歴史がある学校なので、通学路の危険性は今言われ始めたことではなく、長らく言われていることなのではないか。それに対して、根本的な解決を図るのではなく、学区を変更して、危険個所を通学する児童を減らして、その場限りのような解決策はどうかと思う。そこに住んでいる人達の危険性は解決されないのであれば、根本的な解決につながらない。北新宿地区は、洲崎橋だけでなく、交通状況の整備がされていないように感じる。交通量のわりに、横断歩道やガードレール等の歩道状況が整備されていない。学区を変更する前にやるべきことがあるのではないか。</p> <p>適正配置等に関する考え方という資料の中で、吹上小学校の生徒数が大幅に減少が見込まれていると謳われているが、今回は、吹上小学校の教室数が足りなくなっていると説明している。この短期間で言っていることが真逆になっているのは、見込みが甘すぎるのではないだろうか。その時の現状で、子ども達が振り回されるようなことがあってはならない。</p> <p>大芦小学校や小谷小学校も人数は減っている。吹上小学校と下忍小学校だけでなく、吹上地域全体を見て、計画をたてるべきではないか。</p>
教育委員会	<p>洲崎橋については、解決に向けて何もしていなかった訳ではない。通学時間帯の交通規制や橋の架け替え等の要望や検討をしている。しかし、関係機関に認めてもらえないのが現状であり、教育委員会として子ども達の安全確保のために何ができるのかと考えたときに今回の提案をさせていただくこととなった。</p> <p>教育委員会が一方的に決定しているのではなく、様々な要望や意見をもとに提案しているものである。</p> <p>今日お集り頂いた方々には、対象となる地域・学校を限定的にお話しているが、</p>

	<p>小中学校の適正規模・適正配置というのは、大芦小学校や小谷小学校といった吹上地域の他の小学校を含めた鴻巣市全域を対象とした計画となる。</p>
保護者	<p>6年前は、吹上小学校と大芦小学校と小谷小学校で適正配置の計画が立てられていたが、ここに下忍小学校が入ってきたのはなぜか。</p>
教育委員会	<p>本日は、吹上小学校に通学するお子様の保護者を対象とした意見交換会であり、今回は、中学校区が吹上北中学校から吹上中学校になることへの意見の場である。</p> <p>全ての小学校の適正規模・適正配置については、今後の方針が決まり次第、広報等でお知らせし、改めてこのような場を用意したい。</p> <p>吹上北中学校から吹上中学校への学区変更について意見をいただきたい。</p>
保護者	<p>必ずしも同じ小学校から同じ中学校に進学しなくても良いのではないか。新しい出会いがあると思う。</p> <p>北新宿の児童が下忍小学校に移ることで、人数のバランスはどうなるのか。</p>
教育委員会	<p>各家庭により様々な意見があることは認識している。小中学校が同じではないことを気にしない家庭もちろんある。しかし、この地域に限らず、他の小学校でも、少ない人数で大人数の中学校に進学することへ抵抗があるという意見がある。教育委員会としては、同じ小学校から同じ中学校へ進学したほうが良いと考え、適正規模・適正配置に取り組んでいる。</p> <p>人数については、令和9年度までしか算出されていないが、推移としては、北新宿地区の学区を変更することで、吹上小学校、下忍小学校の両方で適正規模を保つことができる。また、吹上中学校と吹上北中学校でも同規模を維持できることが予想されている。</p>
保護者	<p>吹上北中学校に上の子が通っているが、中学校に進学する際に、友達と離れ離れになることを寂しいと話していた。また、歩道のないところを通学するため、暗くなると危険に感じる。そのため、今回の提案には賛成である。</p>